さいわい通信

第10号
2025年4月1日
(株)さいわい企画
編集　クリスチャン・セレモニー・クラブ
(C・C・C)事務局
052-893-732

「神様の恵みがあったからこそ」
―ご遺族挨拶より―

五月二十三日午後三時四分、母・小夜子が八十九歳で天に召されました。

城倉　由光様
栄光聖書教会

名古屋市名東区内の老人保健施設から日進おりど病院に緊急入院したのが四月二十六日だったので、およそ一カ月のことでした。

その間、牧師ご夫妻が何度も面会に来てくださって、お祈りに加えてマッサージまでしていただきました。母もとてもうれしそうな顔をしていました。本当に感謝です。ご夫妻を通してイエスさまの愛を母は理解し信頼してくれたと信じています。

母・小夜子は一九三四年、昭和九年に名古屋で生まれ育ちました。十人ほど兄弟のいる家庭の次女でした。戦後は安田生命などで働いていたのとのことでしたが、およそ六十六年前に父と出会い、長男長女をもうけました。性格は、人付き合いの下手なところがある反面、自分に厳しく他人にも厳しい面もありましたが、それは優しさの裏返しだったと思います。

◇

自分のことよりも「他を活かす」ことに熱心で、子どもの教育のために働きに出るなど、私たち子どもから見ていても、とてもできるようなことではありませんでした。長男・由光は十九歳で名古屋から上京しましたが、夏やお正月の帰省のたびに自分のことよりも相手をおもんばかる性格は変わりませんでした。愚痴はよく聞きましたが、まあそれはストレス発散でしょう。長女・美佐子の体や生活のことも本人がいないところでよく気遣っていました。

そのうち孫も二人できて「ネコっかわいがり」していました。「ネコ」といえば、困ったのが近くの公園で捨て猫にエサをやるのが趣味で、その趣味が高じて自宅に何匹も飼ってしまうことでした。最高三匹はいたのではないでしょうか。晩年は「ネコが親友」「ネコがヘルパー」といった状態でした。そのうち、一匹の白いネコは今もペットシッターのもとで元気いっぱいです。

加えて、私たち子どもが「最後に母から教わったこと」は、父の介護でした。およそ四年にわたる人工透析に週三回、車椅子で介護カーに乗せて見守り、あるいは心臓の手術、食事制限の料理など、八十代の母は「得意の愚痴」を言いながらもいっさい手抜きせずに介護・看護をまっとうしたことでした。愛がなければとてもできないことでした。

◇

振り返れば、母の生涯は「他を活かす」一生ではなかったかと解釈しています。しかしそれは、神さまの恵みがあったからこそできたのではないでしょうか。見方を変えれば、「平凡な一生」だったかもしれませんが、「平凡」というのは寛容さや自制を伴う、大変な努力を要することだと感じます。

◇

最後に、母は牧師と祈った後「天国は、あの青い空の向こうにあるように思える」と空を指したそうです。母の死は今、「主のいのち」に包まれたと思っています。感謝します。

「私たちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死にます。ですから生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです」

（ローマ14章8節）

名古屋市立八事斎場
2025年4月1日より
全面改修工事　開始

名古屋市天白区にある、八事斎場が再整備事業により本年四月から、人体火葬休止となりました。（動物火葬は継続）このことにより名古屋市民の火葬は、港区にある市立第二斎場のみとなります。

市は、なるべく火葬待ちが発生しないように、第二斎場の対応強化など対策を立てています。これに伴い、第二斎場使用のルールも変更点があり、火葬場へ行ける人数や炉前の祈りまでの手順などが変わります。

また、名古屋市をはじめ名古屋近郊のほとんどの火葬場で、「市民優先予約」が開始されました。教会から近いからといって、管外（住民登録と別の市町）の火葬場を利用しようとするときには、注意が必要です。

新しい八事斎場の供用開始は、二〇二八年六月の予定となっています。

◇

さいわい企画では通信等での周知に加え、葬儀打ち合わせの際にご遺族様、牧師、教会の方々へ、丁寧なご説明を心掛けますので、ご安心くださいませ。何かと不便を感じることもあるかと存じますが、ご理解、ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

み言葉を味わう⑨

イエスは彼女に言われた。「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者はみな、永遠に決して死ぬことがありません。あなたは、このことを信じますか。」ヨハネ11:25-26（新改訳2017）

これは弟ラザロを亡くして悲しんでいるマルタに語ったイエスのことばである。「あなたの兄弟はよみがえります。」とイエスが言った時、イエスとマルタとの会話には食い違いが起こっていた。イエスは今からラザロをよみがえらせようとしており、マルタは終わりの日のよみがえりだと考えた。イエスのこのことばはマルタに復活の権威は誰にあるのかを示すことばである。マルタは「イエスがいれば弟は死ななかった」と言った。それはイエスは癒す方だと信じていたが、復活の権威を持っているとまでは理解が及ばなかったのだ。いのちはイエスが与えるものなのだ。イエスを信じるものが永遠のいのちを得るのである。「ラザロよ、出てきなさい。」とよみがえらせることで、イエスはご自分のよみがえりの権威を示したのである。

私たちはいのちを造り出すことも、伸ばすことも、よみがえらせることもできない。しかし、イエスにはできるのだ。いつ、どのように、それはイエスに主権がある。私たちはイエスに信頼し、ついていくだけなのだ。

一麦ゴスペルチャーチ
牧師　山下義道

葬儀セミナー続々開催

岐阜 生と死を考える会
2024. 10. 12

「岐阜・生と死を考える会」の講師としてお招きいただき、「キリスト教葬儀の実際からみた死生観」というテーマでお話しさせていただきました。

ご参加の皆様は、月に一度の講演などを通して、「生と死」について様々な観点から考え、また意見を交し合っていらっしゃいます。教会へ行ったことがない方も「死」への向き合い方という面で興味深く聞いて下さったことは印象的でした。

また、会では長らく、死別体験者の分かち合いの場を持たれてきたそうです。さいわい企画でもグリーフケアの大切さを鑑み、グリーフケアカードの作成などに取り組んでいます。

◇

日本基督教団名古屋東教会では、聖日礼拝の後、テーブルを口の字にして少人数のアットホームな雰囲気でのセミナーでした。数年前に会堂の建て替えがなされており、美しくかつ機能的な内装を拝見しました。

新しい会堂での葬儀はまだご経験がなく、具体的にどのような式場設営になるか、どのようなことが実現可能かご提案させていただきましたので、いくらかのイメージを持っていただけたかと思います。

また各ご家庭の事情に合わせた葬儀全般の疑問や不安もお話しいただき、ともに考えることができました。

少人数でのセミナーは、より細かく、より具体的なお話ができることが魅力だと思っております。

日本基督教団 名古屋東教会
2024. 8. 25

葬儀セミナーのご依頼 随時受付中

み言葉入り有機栽培のお茶、会葬返礼品に加わる

さいわい企画では、今年2月より会葬返礼品のラインナップに有機栽培の緑茶・ほうじ茶のセットが加わりました。

セットは2種類。緑茶・ほうじ茶のセットと、ほうじ茶のみのセット。どちらもとてもまろやかで香り豊かです。今までもお茶やコーヒーなどのセットはありましたが、クリスチャンの葬儀らしい、喜んで頂けるものをお配りできるのは長年の課題でした。こちらの商品は浜松市天竜区、有機農法でお茶の生産をされています

ティーズハレルヤさんから卸してもらっています。

ティーズハレルヤの渥美さんご夫妻はクリスチャン。み言葉入りパックはご夫妻の伝道への想いから生まれたものです。緑茶には「わたしは道であり、真理であり、命である。」I am the way and the truth and the life. ヨハネ14章6節 新共同訳。ほうじ茶には「わたしたちの国籍は天にある」Our citizenship is in heaven. ピリピ3章20節口語訳。

送る側も嬉しい、そんな会葬御礼になればと願っています。早速、頂いたから「美味しかったので」と直接ティーズハレルヤさんに注文も入ったそうです。

これからもより良いサービス、より良い商品を提供できるよう励んで参ります。

みんなの絵本

『イースター あたらしいいのち』
加藤潤子 絵・文
発行所 いのちのことば社

みなさまの教会ではイースターにはどのような催しがなされますか。私の教会のCSでは、たまご(画用紙製)探しをします。たまごの形は違えど、数週間後にひょんなところから現れるのはどの教会でも同じ光景ではないでしょうか。

今回の絵本は、そんなイースターのお話の予習・総復習ができそうだな、CSで読んであげたいな、と奉仕者の目線でも心惹かれる一冊です。

私は、まずなんといっても作者・加藤潤子さんのイラストが大好きです。優しくて愛らしくて。特にこの絵本は表紙からも見て取れるように、明るくて可愛らしい色彩に満ちています。同シリーズに『くりすます-かみさまのおおきなぷれぜんと』があり、こちらも可愛らしい絵本です。

この絵本で語られるのは、イエス様の十字架での死と葬り、復活、弟子たちに会われ、天に上げられるまで。それがいまの私たちのためであることも描かれています。聖書を読むのがまだ難しい年齢の子でも、聖書に沿ったお話がよく分かる絵本になっています。

（藤田）

編集後記

◆桜の季節があっという間に過ぎてしまいました。今年、満開の桜のときのお式で、遺影写真の背景が桜で、タイムリーでとても素敵でした。（杉）

◆ヨハネの福音書の対話に出てくるイエス様と登場人物のギャップが面白いと思いながら今回の箇所を読んでいました。マルタの聡明さを思わされました。（山）

◆年度末は様々な火葬場の説明会へ足を運びました。ルール変更に始めのうちは私がオタオタしてしまいそうですが、お客様に迷惑がかからないようがんばります。（藤）

祈りあい、支えあい
クリスチャン・セレモニー・クラブ（C・C・C）
特典①さいわい企画での葬儀料金が、5%割引
特典②各種生前予約割引キャンペーンあり
特典③生前相談生前見積、何度でも無料(ご自宅出張もOK)
特典④オリジナルエンディングノート贈呈
特典⑤キリスト教葬儀関連情報誌「さいわい通信」(本誌)のお届け
特典⑥打合せ時、高級レザー調ファイル贈呈
特典⑦み言葉入りボールペン贈呈

さいわい企画 ホームページはこちら
生前予約申込みフォームもあります
過去のさいわい通信もご覧いただけます